

## 「ドリーム会」について

雄峰高校の学園祭や生徒海外研修等への助成、奨学金の給付をしていただいている「ドリーム会」について紹介します。

### 1 発足の経緯

「ドリーム会」は、雄峰高校の生徒たちが夢と自信を持って自己実現のために堅実に努力するよう願って、1989年(平成元年)に当時の水木省三校長の発案により発足した。正式名称は「雄峰高等学校生に夢と光を与える会」である。

生徒への支援は外部からの援助なくして成し得ないことから、水木校長が北陸電力株式会社会長の森本芳夫氏、北日本放送株式会社社長の横山良一氏、田中精密工業株式会社社長の田中儀一郎氏に代表委員をお願いし、また、本校卒業生で株式会社電通富山支社次長の奥野達夫氏、南司法行政測量事務所所長の南芳明氏をはじめ、富山県内企業の13名に発起人となっていただいた。(役職はすべて当時)そして、県内企業等に基金への援助を呼びかけ、1,700万円の基金が集まった。その後は毎年の会費と合わせて運用している。

### 2 事業について

- (1) 生徒海外派遣、生徒の体育・文化活動の充実、生涯学習機能の充実、施設・設備の充実等に係る支援
- (2) 生徒への奨学金給付

### 3 ドリーム会から雄峰高校生へのメッセージ

- ・夢を持って、その実現ためにこつこつと努力してほしい。今何に取り組んで努力しているかを大切にしてほしい。
- ・己自身としっかり向き合って生活してほしい。自分のことだけでなく他の人のことも思いやり、「偉い人」ではなく「尊い人」になってほしい。